

平成二十四年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小・中学校教科教育コース 国語教育専修

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
- 六、解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

非公開

問題

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

(なお、本文中で引用されている図版については別紙を参照のこと。)

非公開

非公開

非公開

非公開

＜宮皓ほか、『こんなに違う！世界の国語教科書』メディアファクトリー、二〇一〇年、三三～三九・五三～五八ページ、一部改変＞

問一 この文章で紹介されているような教材を学ぶことによって、子どもたちにどのような能力が身につくと期待できるか。
イギリス・フランスそれぞれについて述べなさい。（それぞれ一〇〇字以内）

問二 この文章で紹介された事例もヒントにしながら、あなたの考える国語教育にふさわしい教科書や教材のありかたについて述べなさい。（六〇〇字以上、八〇〇字以内）

別紙

〔図版A〕

非公開

〔図版B〕

非公開

〔図版C〕

非公開

〔図版D〕

非公開

〔図版E〕

非公開

〔図版F〕

非公開

平成二十四年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小・中学校教科教育コース 国語教育専修

出題の意図

今回取り上げた素材文では、イギリスの教科書における「ユーモアを交えることによる血の通ったコミュニケーションの成立」〈子どもたちの自由な会話による想像力の飛翔〉、フランスの教科書における〈日常生活への応用を意識した言語活動〉〈芸術への感動の言語化〉といった、単に「お国柄」では片付けられない、今後の我が国の国語教育のヒントとなる事例がふんだんに盛り込まれている。現行の学習指導要領で各教科において「言語活動の充実」が強調され、国語科の果たす役割がますます大きくなっているいま、当専修としては、国語科の豊かな可能性を拓いていける柔軟さをもつ学生を求めており、その意図にかなう出題としたつもりである。また、PISA型読解力として注目されている〈非連続型テキスト〉の読解の問題に触れられている点でも、国語科の現在の課題に即した出題である。

具体的な設問においては、一では素材文を的確に読み取れているかどうか（特にイギリスの教科書については「ユーモア」「勝手な発言」といった表層面だけで捉えないことが肝要）、二では国語教育のありかたについて豊かなイメージを持っているかどうかを、測る。まとまった文章を正確な日本語で書けるかどうか、当然評価の対象となる。